

令和7年9月27日

令和6年度 津山圏域消防組合地球温暖化対策実行計画の点検・評価

津山圏域消防組合は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、令和元年11月に策定した「津山圏域消防組合地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでまいりました。

上記計画の計画期間を第5章3に基づき、点検・評価を実施いたしましたので公表します。

1 津山圏域消防組合地球温暖化対策実行計画の概要

本実行計画は、令和6年4月に改訂を行い、計画期間を令和6年度から令和10年度の5年間として、削減目標を基準年度(令和4年度)比で3%(19,263Kg-CO₂相当)以上削減することを目標としています。

温室効果ガス総排出量	削減目標	目標年度排出量 (R10年度)
基準年度：令和4年度 642,085 Kg-CO ₂	-3%以上削減 (-19,263 Kg-CO ₂)	622,822 Kg-CO ₂ (622.822t-CO ₂)

2 点検・評価

【本計画削減目標の達成状況】

温室効果ガス 総排出量(KgCO ₂)	R4年度 (基準年度)	R6年度実績	増減量	増減率
	642,085 Kg-CO ₂	612,843 Kg-CO ₂	-29,242 Kg-CO ₂	-4.55%

令和6年度の温室効果ガス総排出量は基準年度と比較し4.55%の削減となり、計画期限の令和10年度目標3%以上の削減ができたと評価しています。

【燃料別温室効果ガス排出量表】

項目	温室効果ガス排出量(Kg-CO ₂)			増減率
	令和4年度 (基準年度)	令和6年度	増減量	
電気	393,642	386,249	-7,393	-1.88%
ガソリン	143,529	137,476	-6,053	-4.22%
軽油	44,081	40,932	-3,149	-7.14%
灯油	21,620	19,338	-2,282	-10.56%
都市ガス	27,980	20,180	-7,800	-27.88%
LPG	11,233	8,667	-2,566	-22.84%
合計	642,085	612,843	-29,242	-4.55%

全体で温室効果ガス排出量は基準年度である令和4年度と比較して29,242Kg-CO₂削減となりました。

近年、異常気象により夏は高温が続き、エアコンの使用時間が長くなり電気使用量増加の恐れがあります。適切な職場環境を維持していくため必要な項目ですが、不必要な照明の消灯、消費電力の少ない照明器具等への切り替え等、さらに燃料消費の削減に努めてまいります。

3 今後の取組について

本実行計画は、Plan（計画）Do（実行）Check（評価）Action（改善）の4段階を繰り返すことによって点検・評価・見直しを行います。毎年の取組みに対するPDCAを繰り返すとともに、本実行計画の見直しに向けたPDCAを推進します。